

令和5年度 危機的な状況にある

言語・方言

サミット 与那国島大会

アイヌ
語

沖縄
方言

東北
被災地

与那国
方言

国頭
方言

奄美
方言

八丈
方言

八重山
方言

宮古
方言

10²⁰²³

14

(土)

13:10

〜

17:45

15

(日)

10:00

〜

15:45

与那国町立久部良小学校
体育館及び多目的室
(沖縄県八重山郡与那国町字与那国4022)



どなたでも
参加可能

特に、消滅の危機にある
言語・方言に関心のある方

・ 事前申込み不要

・ 参加費無料

※ 開催当日、体調に不安のある方は
参加をお控えください。

▶ オンライン配信について

オンライン同時配信は行わず、
後日、YouTube の文部科学省
公式チャンネル (MEXTch)
で収録動画を公開予定

主催・共催 文化庁、沖縄県、与那国町、与那国町教育委員会、
大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所、国立大学法人琉球大学

趣旨

日本には消滅の危機にある言語・方言がいくつもあります。アイヌ語、八丈方言、奄美方言、国頭方言、沖縄方言、宮古方言、八重山方言、与那国方言、そして、東日本大震災の被災地方言など。「危機的な状況にある言語・方言サミット」は、これらの言語・方言の状況や地域の取組事例の紹介、聞き比べや講演、協議などを通して、文化の多様性を支える言葉の役割や価値について共に考え、危機的な状況を改善するきっかけとします。

プログラム

10月14日 土 13:10 - 17:45

13:10 開会式

オープニングアトラクション
与那国島の芸能
(ダーナラシ、ミティ唄、ティンバイ)
関係者挨拶

13:45 基調講演

『どうなんむぬい辞典』づくりから
考えた言語継承と研究者の役割
中澤光平 (信州大学)

15:00 休憩

15:15 聞き比べ

アイヌ語、津軽、南部、八丈、奄美、
国頭 (沖永良部、与論、沖縄本島)、
沖縄、宮古、八重山、与那国 (祖納、
比川、久部良)

16:00 休憩

16:15 表現披露

アイヌ語、津軽と南部の二人芝居、
与那国語による「キングイ」(狂言)
ドゥングトゥ

17:45 終了

10月15日 日 10:00 - 15:45

10:00 開会

10:05 危機方言の現況報告

山田真寛 (国立国語研究所)

10:35 アイヌ語の現況報告<収録動画>

遠藤志保 (北海道博物館)

11:05 休憩

11:15 協議

12:45 ブースアピール

13:00 休憩

14:00 ブース発表 ※

与那国、宮古、与論、沖永良部、
八丈、しまくとぅば普及センター、
アイヌ、言語復興の港

15:30 閉会式

大会宣言、関係者挨拶

15:45 終了

※ 会場は多目的室

※ 敬称略

※ 都合により変更する場合があります



基調講演講師 **中澤 光平**

博士 (文学、東京大学 2017 年)
与那国町教育委員会嘱託員 (2016 ~ 2018 年)
与那国方言辞典編集委員会専門委員 (2021 年~)
現在、信州大学人文学部講師
どうなんむぬい検定 9 級、8 級

問合せ先

与那国方言辞典編纂室 (与那国町教育委員) TEL 0980-87-2440